平成28年度の研究会関連の採択課題は６件であり、委員長よりまとめての報告がなされた。それぞれの参加人数は規模は２０～８０名程度である。今年度も活発な研究会活動がなされた。特に、本年度から始まった「宇宙素粒子若手の会」の会合は、大学院生や若手研究者の活性化につながると期待する。高エネルギーガンマ線、ニュートリノといった宇宙線分野の大型計画に関する研究会が行われた。また粒子加速、惑星物質といったトピックスを絞った研究会も開催された。宇宙線研究者会議(CRC)の研究会では、継続的な将来計画への議論が企画された。